SCREEN

特許出願中

スマホセンサーから歩行と停止を判定し、各地点の行動や混雑度を分析

行動分析ソリューション



Point 1 スマートフォンのセンサーを使用して、
歩行と停止の行動をリアルタイムで判定

Point 2 個人の歩行行動から混雑度を計測、
路上の混雑度や人数を推定

Point 3 興味分析、スマートグラスGUI制御、広告表示制御、
観光地ビッグデータ分析に活用





スマートフォンのセンサーデータを利用して、人の行動をリアルタイムで判定・分析。

行動分析ソリューションは、スマートフォンに搭載されている各種センサーのデータだけを使用して、人の行動を解析する技術です。
スマートフォンとのデータ通信によってのみ情報を取得・分析するため、インフラ設置コストを大幅に削減できます。

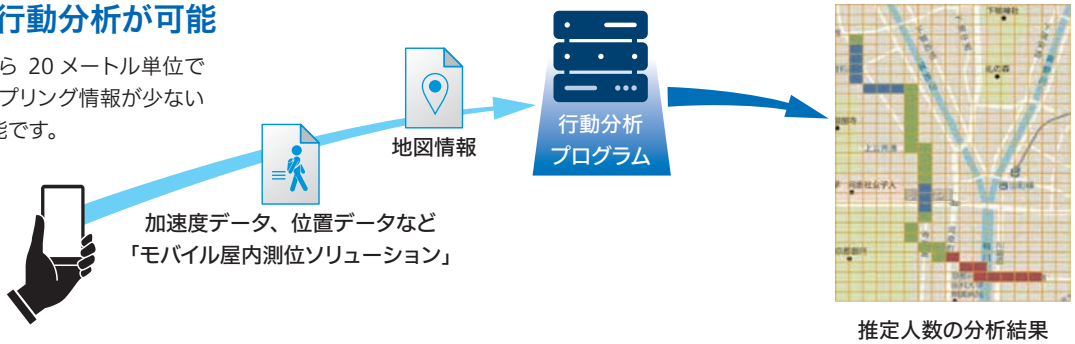
歩行判定機能

スマートフォンからのセンサーデータを感知し、歩行中か停止中かを判定して画面表示を制御します。

- **歩きスマホの防止に**
  アプリケーションに組み込むことで、歩行中の画面表示を制御できるため、歩きスマホを防止することができます。
- **スマートグラスの視界確保に**
  スマートグラス使用時には、歩行時に操作画面の表示をオフにしたり透過させるなど、視界を妨げることがないように画面を制御できます。

最少ひとりのデータで行動分析が可能

スマートフォンとのデータ通信から 20 メートル単位で3 秒ごとに判定できるため、サンプリング情報が少ない場合でも高精度な混雑分析が可能です。



推定人数の分析結果

行動分析の用途事例

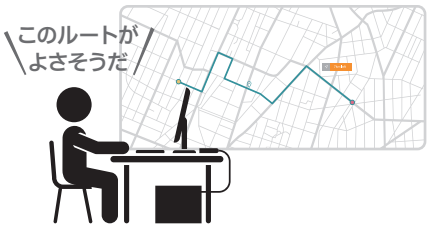
●混雑度の分析

観光地やイベントなど、混雑具合をリアルタイムに公開できるため、混雑解消に活用できます。（実証実験にて検証済み）



●路上の人数の把握

避難所などの最適化に向けた実証実験やシミュレーションなどにも活用できます。（実証実験にて検証済み）



●顧客行動の分析

停止情報から、興味や注目度など数多くのデータを蓄積することで、顧客の傾向を把握したり、混雑する場所のレイアウトの最適化など、行動マーケティング分析に活用できます。



システム要件

・iOS 版 NAVIMICHAEL　動作環境（OS）：iOS 10.0 以上、統合開発環境：Xcode 10.0 以上、開発言語：Swift 4.2 以上
・Android 版 NAVIMICHAEL　動作環境（OS）：Android OS 7.0 以上、統合開発環境：Android Studio 3.1 以上、開発言語：java

参考論文

・スマートフォンセンサから抽出した混雑度と地図情報を用いた人数推定手法の開発　第60回システム制御情報学会研究発表講演会（SCI'16）2016/05/27

SCREEN

注意　ご使用の前には、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

株式会社 SCREEN アドバンストシステムソリューションズ
本　社　〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る四丁目天神北町１番地の１
www.screen.co.jp/as/

※本カタログは、SCREENグループのヒラギノフォントを使用しています。
※本カタログの各商品名は各社の商標・登録商標です。
※本カタログの仕様ならびに商品デザインは改良のため予告なしに変更されることがあります。
※本カタログに掲載している商品は、日本国内仕様です。

2019年4月発行